

安全・安心な地域づくりに向けて

東日本大震災以降、特にその重要性が再認識されつつある地域による防災活動。今号では、この地域による防災活動の中心となる自主防災会とその活動についてご紹介します。

地域コミュニティの重要性

地域のコミュニティは、住民同士の支え合いや注意喚起など、災害だけではなく犯罪や福祉、教育環境などさまざまな問題を解決する際にその役割を果たしてきました。

しかし、現代社会では生活様式の多様化や少子高齢化の進展、さらに核家族や単身世帯の増加など、さまざまな要因によって、かつての「向こう三軒両隣」という親密な近隣住民との結びつきが希薄になりつつあります。

一方で、頻発する自然災害や凶悪な犯罪などによる地域生活への不安が高まる中、住民の地域・近隣とのつながり、結びつきの必要性が再認識され、地域コミュニティの中で、自発的な取り組みが進められるようになってきています。

こうした取り組みの推進は、防災をはじめとする地域の安全・安心な暮らしのために重要であり、今後、各地域においても地域住民の創意工夫による主体的な活動がますます求められてきます。

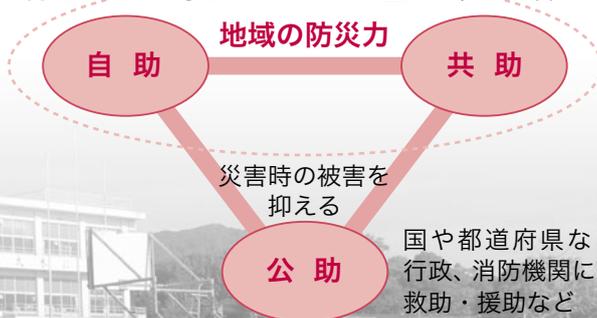
自助・共助・公助

東海・東南海地震などの大災害が発生した場合、被害の拡大を防ぐため、公的機関は震災直後から総力をあげて活動にあたります。しかし、地震などの自然災害による被害は広範囲に及びます。また、火災をはじめ道路の寸断、建物の崩壊など、多種多様な災害が予想され、公的関係機関の活動(公助)だけでは、十分な対処ができないことが予測されます。

そのために常日ごろから自分の身は自分の努力によって守る(自助)とともに、普段から顔を合わせ

自助・共助・公助

自分の身を自分の努力によって守る
地域や近隣の人と互いに協力し合う



消防署 ☎68♦5110

ている地域や近隣の人々が集まって、互いに協力し合いながら、防災活動に組織的に取り組むこと(共助)が必要です。そして「自助」「共助」「公助」が有機的につながることで、被害の軽減を図ることができるよう。

